

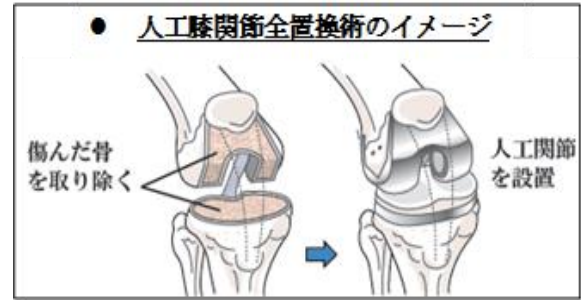
人工関節手術支援ロボットを導入しました。

当院ではこのたび、日本で初めて承認された整形外科におけるロボティックアーム手術支援システム「Mako システム」を導入し、人工股関節全置換、人工膝関節全置換および単顆型人工膝関節置換のロボティックアームでの手術を保険診療で行えることになりました。同システムの導入は広島県東部地区では当院が初となります。

ロボティックアームとは、一般に「人の手の代わりに作業を行う機械の腕」のことで、術中に右の写真の装置を医師が操作し、人工関節を設置する際に傷んだ骨を削るために使われます。



Mako システム



Mako のメリット

● 高度な術前計画

事前に撮影した患者様個別の三次元 CT データを使用して、人工関節を設置する位置や角度、骨を削る深さなどの術前計画を作成します。

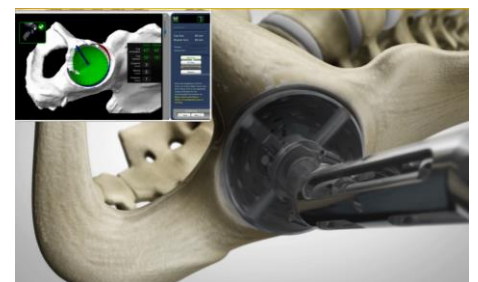
術前計画は、アメリカにある解析センターを経由するため、通常 3 週間程度の期間を要します。



● 安全かつ正確な手術

執刀医はロボティックアームを使用して計画どおりに手術を行います。手術中は患者様の手術部位と手術器具の位置関係を正確に計測し、リアルタイムにコンピューターの画面に表示します。手術計画にない部位にさしかかるとロボティックアームが止まる仕組みになっており、高精度な手術が可能となります。また、執刀医は画面を確認しながら、より精密な関節のバランス調整を行うことができ、より動きやすい関節の機能を術後に得ることが期待できます。

その他、早期の機能回復と合併症の低減、人工股関節全置換術では術後の脱臼率の低減、人工膝関節全置換術では疼痛の低減等が期待できます。



変形性股関節症や変形性膝関節症などで悩む患者様が、人工関節置換手術後、健康的な生活を送っていただけるよう、当院では今後積極的に Mako を用いた手術を行ってまいります。気になることがあればお気軽にご相談ください。

◆ Mako システム認定医：三宅 潤一、宮崎 剛、橋詰 謙三